

発行責任者：貝原吉男 豊能郡豊能町ときわ台 5-1-5 (TEL 072-738-1900)

E-mail: yhahr172@maia.eonet.ne.jp (URL <http://koureidaitoyono.web.fc2.com/>)

参加者募集

同窓会豊能青春18きっぷの旅

JRで行く春のお伊勢参り



同窓会豊能・春の青春18きっぷの旅は、3月30日(木)にJRで行くお伊勢参りとして実施することとしました。伊勢といえば近鉄特急というのが固定観念のようになっていますが、JRで行くルートもあります。草津線、関西本線、紀勢本線と乗り継いでいくので、乗り換えは多いです。伊勢神宮に行ったことがないという人は多いと思いますが、柘植、亀山、津といった主要乗換駅には行ったことがないという人は多いのではないのでしょうか。お伊勢参りというのは外宮から内宮とお参りするのですが、今回は時間がありませんので内宮だけお参りします。多数のご参加をお待ちしています。

<日 時> 3月30日(木) 雨天決行

<集 合> JR川西池田駅 8時20分

*ときわ台駅7:46、光風台駅7:48発

<往 路> 川西池田発8:25 尼崎着8:37 (7番線)

尼崎発8:40 (8番線)

草津着9:38 9:46発草津線・柘植行

柘植着10:31 10:40発関西本線・亀山行

亀山着11:03 11:16発紀勢本線・鳥羽行

(昼食用弁当購入)

伊勢市着12:45 バス(内宮行)12:51又は13:01

約20分乗車 (滞在 1時間30分程度)

<帰 路> バス・伊勢市行き14:50発

伊勢市発15:25快速みえ18号名古屋行

津 着16:02 16:03発紀勢本線亀山行

亀山着16:28 16:42発関西本線加茂行

柘植着17:08 17:12発草津線京都行

南草津着18:06 18:09発新快速網干行

尼崎着19:05 19:13発宝塚線新三田行

川西池田19:25 解散

<費 用> 2,500円(青春18きっぷ代2370円ほか雑費)当日徴収

昼食(駅弁)、バス代(860円)は各自。

<申し込み締め切り> 3月20日(月・祝)

<申し込み先> 木村 738-4773 二川 738-1278

藤原 738-2358



予 告 総会のご案内

第28回大阪府高齢者大学同窓会豊能の総会を下記の通り開催しますのでお知らせします。

日 時 平成29年4月22日(土) 午前10時～

場 所 東ときわ台自治会館

※総会に引き続き懇親会を開催します。

※総会案内書、総会議案書は4月号と一緒にお届けします。



大阪府高齢者大学同窓会連絡協議会

第9回 文化祭が開催されました

文化祭実行委員 岡田忠弘

恒例の文化祭は2月24日(金)、25日(土)の2日間にわたって、吹田市メイシアターで開催されました。例年雨や雪に悩まされたことがありましたが、今年は前日の準備(23日(木))を含め3日間ともいい天気で、出演者、出展者また実行委員ともども、ほっと胸をなでおろしたところでした。

開会宣言のあと、教養講座でスタートです。阪大准教授 池邊一典先生の「歯・口腔機能と健康寿命」の講演でした。平均寿命は毎年のびるが、健康で長生きであらねばならない、それにはやはり、なんでも食べられる歯の維持が基本である、という、考えさせられるお話しでした。

展示は展示室、集会室、ロビーで13同窓会が参加し、絵画、写真、書、陶芸、手芸、刺繍など、二つとない作品が工夫を凝らして展示され、来場者との対話もはずみしました。

同窓会員の出身母体である大阪府高齢者大学校、大阪府北部コミュニティカレッジのブースも設けられ、現役の方々の学習風景や成果が展示され、活発な活動ぶりが窺えました。

今回、より交流を深める目的で、集会室の奥に「交流広場」が設けられました。お茶を飲みながら、「お雛さま」などの人形作り、バルーンアート、折り紙、アクセサリーなどの小物作りなど、誰でも自由に参加できるコーナーで、特に女性の方に人気があったようです。集会室展示は入り口が奥まわっていて、分かりにくいとの声がありましたが、この「交流広場」により、来場者が足を向けやすくなる効果がありました。

同窓会豊能は油絵、水彩画、造形絵画、写真、陶芸、書、刺繍、木工、ガラス工芸、木目込み人形、ちぎり絵、ユニークな手作り玩具、さらには雛祭りのツリー飾り、珍しい魚拓など、25名の方々と、彩りの会、手作り玩具の会の2同好会が31点を展覧されました。担当の方、特に女性の方々のセンスで、パネル、机上ともうまく配置ができ、見栄えのする、いい展示となりました。いつもながら、訪れた人から「豊能は実にいろんな分野にたけた方がおられる」とのお言葉をいただきました。

郷土のPRは、高代寺と良寛歌碑(豊能)、長谷の棚田(能勢)、多田銀銅山の精錬所跡(川西)のパネル展示をしました。各地域の観光地図、チラシを各10部程度ずつ置きましたが、ほとんどなくなり、それなりに関心を持っていただけたと思います。

演芸はレセプションホールで、42組、約350名の方が出演されました。コーラス、舞踊、マジック、朗読、歌体操、落語など、多岐にわたり、玄人はだしの熱演は、観客と一体となっておおいに会場を盛り上げました。

当同窓会からは朗読で「豊能語り部の会」、9名が出演されました。演目は「春を呼ぶ角笛」「夕立」「スーホの白い馬」の3題です。2部構成で、それぞれが日頃の練習の成果をここぞとばかりに披露し、抑揚のある、感情を込めた朗読は、多くの観客を引き込み、終わりには大きな拍手をうけました。

シニアパワーはすごいといいますが、単にその表現だけにとどまらず、長年積み重ねた人生観や培ってきた技能が滲み出ている感じがして、なんとも云えない、味わい深いものがありました。

出展、出演していただいた方、作品の運搬、展示を担当していただいた方、ありがとうございました。

展示部門全景



郷土のPR、高代寺・良寛歌碑、長谷の棚田、多田銀銅山精錬所跡



高代寺の良寛歌碑の説明する





豊能語り部の会の皆さん(1. 春を呼ぶ角笛 2. 夕立 3. スーホの白い馬)

1. 文化祭 [作品出展者] 敬称略

期	出展者	作品種別	期	出展者	作品種別
	石田 賀津子	油絵	19期	小林 泰一	陶芸
高大2期	葛城 英樹	油絵	高2期	齊藤 隆二	陶芸
高大5期	貝原 裕子	油絵	25期	中島 紀子	陶芸
26期	高橋 京子	油絵	25期	田中 久美子	ツリー飾り
高大1期	土井 桂子	油絵	26期	石田 三雄	魚拓
22期	新島 康平	油絵	28期	水谷 嘉明	木工
高2期	木村嘉夫	水彩画	高大5期	大森 正熙	書道
27期	正木 國博	水彩画	N1期	南田 慶治	ガラス工芸
高大1期	桑原 弘司	水彩画	高大1期	岡田 緑	木目込人形
24期	坂野 淑子	造形絵画	高大4期	今井 絹代	書道
27期	太田 稔	写真 2	24期	坂野 淑子	押絵
高大1期	桑原 弘司	写真	高大1期	吉倉 由紀子	刺繍
27期	田付 舒義	写真	同好会	彩りの会	ちぎり絵
21期	中村 亨	写真	同好会	手作り玩具の会	
20期	大辻 敏文	陶芸			

2. 文化祭 [演芸出演者] 敬称略

豊能語り部の会

谷 啓子 古家徳美 今井絹代 村上トム子 土井桂子
辻本和代 仲 郁實 山野真智子 広瀬侑子



読者投稿

漫画プレゼント ジュズつなぎ日本一周旅行 (1)

ON1 期 南田慶治

私達 3カ国 12名は2014年3月からマンガを描き始め、2年9カ月後の2016年11月に印刷が終了しました。

そこで私はこのマンガをいろいろな人達に読んでいただきたくてプレゼント旅行を思いつきました。なぜかと申しますとマンガを進めていくうちにいろいろと新しいことやおどろくことが解かり、それらを描いてありますので知ってほしく思ったのです。例えば・宇宙の始まりは「おおいなるすべて」が自分自身を知りたくて分裂すなわちビッグバンを起して始まりました。

・それぞれの個人(魂)は生まれ変わりを経て、色々と体験して「おおいなるすべて」に戻ってくるでしょう。

・我々の3次元は {陰と陽} {裏と表} {善と悪} {男と女} {光と影} など2元の両極で作られているので「中間」を実現することが目標で、その為には判断しないでどちら側にもつかないことです。

・行動は「原因結果の法則 すなわちカルマの法則」に従っており、した事に対して必ず結果があり物事が起きてくる(宿命)とそれぞれ起きたことに対して良しとするか反発するかの千差万別



ある並行宇宙のどれかに決めていく(運命)、それがまた次の原因になりますので感謝して取り組むのがその後の成長が早いようです。

・人類は進化の途中で地球外生命体達から DNA を入れられ(操作)、猿族から類人猿に突然変異した可能性がある。

・宙の星々はその星の寿命がくるとブラックホールに吸い込まれて終わりを迎えワームホールの中をらせん状に進み、次元が上がりチューブから出て新しい星になりその歴史が始まる。そこをホワイトホールという。

その他いろいろありまして、信じがたいことも描いてあります。人々は最初耳をかたむけない事でも3回・5回いや10回も聞けば耳を傾けて下さると信じまして、その内の1回になる為のプレゼント旅行なのです。



方法はキャンピングカーに漫画を積んで運転は2人交代で、もちろん日本各地の見物もして回ります。

次に旅行のタイプは1月半間隔を空け5日から7日の予定でジュズの様につないで行くもので、これなら家庭や運転手の負担も少ないと考えられます。

日程は	2016年12月27日から30日	東京コミックマーケット
	2017年2月12日から16日	沖縄
	4月14日から18日	四国
	5月25日から28日	近畿
	7月2日から8日	北海道
	8月20日から26日	北海道
	10月7日から11日	山陽
	12月26日から30日	東九州

(制作・漫画制作委員会)



(企画・チャーリー南)

以上が2017年に回り、西九州・東海道・東北・東北(日本海側)・山陰は2018年に行く予定です。これで日本一周になります。

東京コミック・マーケット編

まずその1回目として年末(12月28日)東京ビッグサイトでありましたコミックマーケットでプレゼントしてきました。結果は270冊持って行き、あげたのは約80冊で思ったより少なかったです。何故なら来客の人達は自分の好きなコーナーを決めて、速足で通り過ぎられる方が多く、なかなか私達の所に立ち止まってマンガを貰って下さらなかったのです。また、期間3日のうち初日だったのも影響しているだろうと思います。

さあ次は沖縄です。楽しんで、のんびりと行ってきます。

